

# 和歌山だより

平成27年 5月号  
(2015)



紀州東照宮 (和歌山市)

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P10
3. お知らせ…………… P11～P14
4. ふるさと歳時記…………… P15～P16

1621年に紀州藩初代藩主 徳川頼宣によって、南海道の総鎮護として創建されました。「権現造り」の本殿のほか、拝殿、楼門など7棟が国の重要文化財に指定されています。5月17日には、「和歌祭」が開催されます。108段の石段を勇ましく神輿が駆け下り、その後、太鼓や雑賀踊、薙刀振りなどの渡御行列が和歌浦周辺を練り歩きます。



## レオナルド・ダ・ヴィンチの「なぜ」

「モナ・リザ」や「最後の晩餐」の作者、レオナルド・ダ・ヴィンチは、絵画はもちろん、科学技術、発明、人体解剖、兵器、飛行機などあらゆる方面に首を突っ込み、しかもそれをとことん追求する、いわば万能の天才であります。でもどうしてこのように多くの事に興味がわき、しかもそれを徹底的に究めようとしたかという事が大変興味のあるところではあります。

作家の塩野七生さんは、その著書「ルネサンスとは何であったのか」で、レオナルド・ダ・ヴィンチは「なぜ」で生き通した人だと書いています。レオナルド・ダ・ヴィンチは、この「なぜ」を追求する気持ちが人一倍強いので、絵の描き方もどんどん新しい技法を追求し、鳥が空を飛ぶのを見て、その秘密を究めようとし、それなら人も鳥のように空を飛べるはずだと飛行機の開発に熱中しました。あらゆる事に興味がわき、それを追求することに突き動かされたのも、この「なぜ」の気持ちからだと言っています。

私はかねがね県庁の職員に「なぜどうして」を忘れぬようにしようと言っています。「なぜどうして」によって、県政のさまざまな局面に興味があります。「なぜどうして」によって、その局面がただ前例があるというだけで、十年一昔前のおりやっていたよいかという気持ちが変わってきます。そして「なぜどうして」を詰めていく事によって、新しい解法が、しかも論理的な形で浮かんできます。したがって、すべての力は「なぜどうして」から出てくるのです。

これは県庁の仕事に限られません。それぞれのお仕事に就いている方が皆「なぜ」の気持ちに突き動かされて、頑張れば、和歌山の明日はきっと変わってきます。作柄をよくするにはどうしたらよいか。自分たちの作った生産品がなかなか買ってもらえないのはなぜだろうか。観光客がなぜ自分の店にあんまり来てくれないのだろうか。町が廃れてきたように見えるのはなぜなのだろうか。すべては「なぜどうして」から始まります。



4/7 定例記者会見にて

塩野さんは天才レオナルド・ダ・ヴィンチの行動がこの「なぜ」から出てくるものだと喝破しました。何かしらうれしくなるではありませんか、天才レオナルド・ダ・ヴィンチも「なぜ」があったから天才たりえたのですから。

## 今月の和歌山県政トピックス

\* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

## ●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会開・閉会式の特別出演者が決定！！

・今秋開催する「紀の国わかやま国体」・「紀の国わかやま大会」の開会式及び閉会式を、県民の皆さんと一緒に盛り上げていただく特別出演者が決まりました。

(敬称略)

・また、プログラムは和歌山県の魅力満載の内容となっていますので、一般観覧に御応募いただき、式典会場の紀三井寺公園陸上競技場には是非お越しください。



藤原紀香 坂本冬美 田中理恵 小西博之 堀内孝雄

<主なプログラム>

9月26日(国体総合開会式)		
出演者名(敬称略)	次第	内容
藤原紀香 (女優) ウインズ平阪(歌手) 宮本恵梨菜 (歌手)ほか	オープニング プログラム	フィールド司会者と藤原紀香さんのトークを交えながら、きいちゃんダンス、太鼓演奏、踊りなどの県民パフォーマンスや、ウインズ平阪さんら県ゆかりのアーティストによるライブ演奏を行います。
坂本冬美 (歌手) 天翔りいら(女優)	式典前演技	坂本冬美さんと天翔りいらさんに出演いただき、「紀の国の“みち”」というテーマのもと、「森」、「海」、「心」、「未来」の4つの“みち”を、県民のパフォーマンスと歌などでストーリーに仕立て、本県の魅力を全国に発信します。
ルヴェルヴェツ LE VELVETS(歌手)	式典	役員・選手団入場行進、国旗などの掲揚、天皇杯・皇后杯の返還、選手代表宣誓が行われます。そして、県内30市町村で採火された火を一つに集めて炬火台に灯します。 LE VELVETSは、国歌斉唱を行います。
10月6日(国体総合閉会式)		
田中理恵 (日本体育大学 児童スポーツ教育学部助教) 宮本恵梨菜	オープニング プログラム	フィールド司会者と田中理恵さんのトークを交えながら、太鼓演奏、ダンス、伝統芸能などの県民パフォーマンスや宮本恵梨菜さんと県民の方でイメージソング「明日へと」の大合唱を行います。
10月24日(大会開会式)		
小西博之(俳優) 立木早絵(シンガーソングライター) ウインズ平阪 宮本恵梨菜	オープニング プログラム	フィールド司会者と小西博之さん、立木早絵さんのトークを交えながら、きいちゃんダンス、太鼓演奏、踊りなどの県民パフォーマンスや、ウインズ平阪さんら県ゆかりのアーティストによるライブ演奏を行います。
坂本冬美 天翔りいら LE VELVETS	式典	役員・選手団入場行進、国旗などの掲揚、炬火入場・点火、選手代表宣誓が行われ、LE VELVETSは、国歌を斉唱します。また、坂本冬美さんと天翔りいらさんに出演いただき、「紀の国の“みち”」というテーマの歓迎演技を披露します。
10月26日(大会閉会式)		
小西博之	オープニング プログラム	フィールド司会者と小西博之さんのトークを交えながら、競技会の様子を映像で振り返ります。
堀内孝雄(歌手)	ファイナル ステージ	会場全体が一体となるようなコンサートを行います。

・詳細は両大会のホームページを御覧ください。 [http://www.wakayama2015.jp/kanran\\_boshu](http://www.wakayama2015.jp/kanran_boshu)

●「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」開・閉会式の観覧者募集中！

・4月15日から、「紀の国わかやま国体」・「紀の国わかやま大会」の開会式及び閉会式の観覧者を募集しています。

・開会式及び閉会式当日は、本人の氏名が記載された入場券をお持ちの方しか入場できません(譲渡できません)ので、御留意ください。なお、申込み方法等は以下のとおりです。皆さん、ふるって御応募ください。

○募集人数：【国体】総合開会式・総合閉会式…約4,000名

【大会】開会式…約1,000名

閉会式…約1,500名

※観覧者数は警備等の都合により変更する場合があります。

※申込多数の場合は抽選により決定します。

○募集期間：平成27年4月15日から平成27年6月30日まで

○入場料金：国体総合開会式のみ有料(その他は無料)

大人(中学生以上)…1,000円、子ども(小学生以下)…500円

○申込方法：①「入場券申込ガイド」の申込用紙に必要事項を記入のうえ、実行委員会事務局に郵送または持参

※「入場券申込ガイド」は、県庁及び振興局、県内市町村のほか、主要駅、コンビニエンスストア、金融機関、大手スーパー等にも設置しています。

②「紀の国わかやま国体・大会ホームページ申込専用サイト」へ入力の上、送信 <http://www.wakayama2015.jp/>

○スケジュール：7月中旬から下旬頃に抽選、当選通知等送付(国体総合開会式は振込通知書も併せて送付)、9月上旬頃から入場券送付



●紀の国わかやま国体の国体パートナーに感謝状を贈呈



・4月14日、紀の国わかやま国体のパートナー6社の方々に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。国体パートナーは、国体の開催主旨に賛同し、協賛金1,000万円を提供していただいた企業です。

・仁坂知事はお礼とともに、「道路整備も競技会場も整備が進んでいる。宿泊等厳しい面もあるが、皆さんの協力も得ながら頑張っていきたい。」と述べました。

・提供いただいた協賛金は、公益財団法人 日本体育協会と

開催県において、紀の国わかやま国体の広報宣伝等に活用いたします。

○国体パートナー

企業名	出席者
株式会社 ローソン	中島 正文 近畿エリアサポート部長
大塚製薬 株式会社	篠原 英樹 大阪支店長
三井住友海上火災保険 株式会社	山本 晃久 和歌山支店長
アシックスジャパン 株式会社	アシックス販売(株) 大山 勝雄 取締役関西支社長
ミズノ 株式会社	中藤 博一 関西支社長
サントリーホールディングス 株式会社	サントリー酒類(株) 河原 浩史 近畿圏支社長

### ●知事がメキシコ、アメリカ、カナダを訪問

- ・4月21日から4月27日までの日程で、仁坂知事は、県議会の代表4名、県国際交流協会、県内企業の方々とともにメキシコ(メキシコシティ)、アメリカ(シアトル、ロサンゼルス)、カナダ(バンクーバー)を訪問しました。
- ・在メキシコ和歌山県人会創立30周年記念式典、シアトル紀州クラブ創立110周年記念式典、B.C.州和歌山県人会創立50周年式典に出席し、先人の功績、遺徳を顕彰するとともに、県人会の皆さんを激励しました。
- ・シアトルでは、日系社会最大の祭りであるサクラ祭りに参加し、和歌山県とシアトルとのつながりについて、知事がプレゼンテーションを行い、大いに和歌山をPRしました。

#### 在外和歌山県人会周年式典

##### ○在メキシコ和歌山県人会

- ・4月22日、仁坂知事をはじめとする訪問団は、在メキシコ和歌山県人会(ギジェルモ・ワキダ会長)創立30周年記念式典に出席しました。
- ・式典において、県出身者及びその子弟、山田駐メキシコ日本国大使、現地日系団体幹部、現地政府関係者ら約120人が出席する中、仁坂知事は県出身の80歳以上の長寿者に表彰状を贈呈するとともに、県出身の皆さんを激励しました。
- ・式典に続いて開催された祝賀会では、県出身者と訪問団が交流を深めました。特に、4世・5世が「わかぼんダンス」を披露した際には、会場から大きな拍手がわき起こり、大変ほほえましい光景となりました。また、テラモト元会長が、メキシコにおける移民の歴史及び県人の歩みについてプレゼンテーションし、参加者は改めて和歌山とメキシコとの深い関係に感銘を受けました。
- ・式典の最後には、参加者全員で串本節を踊るなど、故郷和歌山に思いを馳せる式典となりました。



##### ○シアトル紀州クラブ創立110周年記念式典

- ・4月23日、訪問団は、シアトル紀州クラブ(佐々木タヅエ会長)が主催するシアトル紀州クラブ創立110周年記念式典に出席しました。
- ・式典において、シアトル紀州クラブを初めて訪問した仁坂知事から、80歳以上の長寿者9名に表彰状を、和歌山県との交流に貢献した功労者5名に感謝状を贈呈するとともに、県出身者を激励しました。
- ・式典会場には和歌山の観光写真パネルが飾られ、また、会場の一角では、県内企業によるオレンジジュース、梅酒、梅干し、醤油などの県産品を振る舞うブースが設置され、県出身者は和歌山の雰囲気堪能するとともに、故郷を懐かしみました。また、式典後の懇談では、県出身者と訪問団が交流を深めました。



##### ○シアトル・サクラ祭り

- ・4月24日、訪問団は、現地日系社会最大の祭りであるサクラ祭り・日本文化祭の会場を、佐々木豊サクラ祭り実行委員の案内で見学しました。
- ・会場には、日系人が作成した切り絵、生け花、書道などの作品が展示され、シアトルの日系人がしっかりと日本文化を引き継ぎながら、日米文化の相互理解に寄与していることに感銘を受けました。

・その後行われた開会式において、仁坂知事はプレゼンテーションを行い、和歌山の観光地や食品を紹介するとともに、「日系人が先の大戦で日本と米国という二つの祖国の中で、日本人としての誇りを持ち米国のために戦うなど、幾多の苦難を乗り越えて信頼を得てきたが、そのような日系人、和歌山県人の存在が日本に対する声価を高めている。」と述べました。また、シアトルに本拠を置くボーイング社の787型機の機体素材に県内企業の製品が使用されていることなど、和歌山とシアトルとの繋がりを紹介しました。



### ○B. C. 州和歌山県人会創立50周年式典

・4月25日、訪問団は、B.C.州和歌山県人会(水田 治司 会長) 創立50周年記念式典に出席しました。

・式典において、県出身者及びその子弟、岡田駐バンクーバー日本国総領事、現地日系団体幹部、現地政府関係者ら約150人が出席する中、仁坂知事は県出身の80歳以上の長寿者146名に表彰状を、和歌山県との交流に貢献した功労者27名に感謝状を贈呈するとともに、県出身の皆さんのこれまでの労をねぎらいました。



・式典に続いて開催された祝賀会では、会食中に県人会の歩みが上映され、その映像に参加者一同は改めて和歌山県とB. C. 州との繋がりの深さを再認識しました。

・リッチモンド市長や市議会議員をはじめ多くの方が出席するなど、県人会の社会貢献が着実に実を結び評価されている証左であり、県人として嬉しく、誇りに思う式典でした。

### その他の日程

#### ○南加和歌山県人会主催歓迎会(ロサンゼルス)

・2011年に開催された南加和歌山県人会創立100周年記念式典以来の訪問となった訪問団は、県人会会長をはじめ役員、その御家族の方々から歓迎を受け旧交を温めました。

#### ○先没者慰霊碑参拝・献花(メキシコ)

・仁坂知事、県議会の代表らは、日墨会館内にある戦没者慰霊碑を参拝、献花を行い、戦没者に対して敬意を表するとともに慰霊しました。この慰霊碑は、安倍首相をはじめ多くの要人が参拝、献花するなど、日本人の心の拠り所となっています。

#### ○ワシントン州日本文化センター訪問(シアトル)

・日本の文化や歴史を広く伝えることを目的に設立されたワシントン州日本文化センターを訪問し、理事長から展示品や日系人の歴史等について説明を受けました。

#### ○シアトル市長表敬訪問(シアトル)

・エド・マレイ シアトル市長を表敬訪問し、和歌山とシアトルには地震対策などお互いに学び合える共通点を有していることなど、深い縁で結ばれていることを確認しました。また、経済的に活発な都市であるシアトルの経済政策について意見交換しました。

#### ○ビーコンヒル消防署訪問・津波防災の碑視察(シアトル)

・ウィンドル消防署長やデビー・ゴーツ地域防災企画員等と懇談するとともに、消防署前にある 濱口 梧陵の稲むらの火のストーリーを刻んだモニュメントを視察し、津波防災の大切さをお互いに再認識しました。

#### ○ステューブストン周辺視察(B. C. 州)

・フレーザー川の河岸を臨む庭園や缶詰工場博物館、県人会が中心となって建立した日系漁師像を視察し、水田会長から当時の様子説明を受け、先人の苦労に思いを馳せました。

#### ○日系センター訪問(B. C. 州)

・日系移民の歴史を展示する博物館、日本語学校、敬老ホームが併設されている日系センターを訪問し、映画「バンクーバーの朝日」に関連する展示を含む日系移民の歴史について説明を受けました。

### ●これからの半島地域の振興に向けた集いが開催されました



・4月16日、全国町村会館(東京都千代田区)において、半島地域を有する道府県知事、議会議長、市町村長で構成される3つの協議会が主催し、国会議員、関係省庁の方々も含め約120人が出席するなか、「これからの半島地域の振興に向けた集い」が開催されました。

・この集いは、「半島振興法の一部を改正する法律」が可決、成立したことに感謝し、今後、半島地域振興に向けて、国会議員及び政府の一層の指導、助言をいただくために開催されたものです。

・冒頭、仁坂知事は主催者を代表して、「3協議会の悲願であった半島振興法が10年間延長され、従来なかった様々な措置が加わった。予算措置がなされ、半島振興道路整備事業債の充当率が75%から90%に引き上げられたことは画期的なこと。また、税制措置も2年間延長された。国会議員各位や国土交通省等の皆様に、お礼申し上げる。」と挨拶しました。また、自由民主党総務会長で半島振興特別委員会顧問の二階衆議院議員は、「今後、半島振興法の趣旨が政策として実現されるよう、努力していかなければならない。半島地域の振興に向けて、今後も皆様のお力添えをお願いします。」と呼びかけられました。



・半島振興法は、三方を海に囲まれ、幹線交通体系から離れるなど不利な条件にある半島地域の振興を目的に、県選出の国会議員等が中心となった議員立法により成立し、二度の延長がなされてきました。この度、平成26年度末の法期限を前に、半島振興対策実施地域の道府県、道府県議会、そして市町村が一体となって、国会議員及び政府に対し、半島地域の振興に資する事項を強く要望してきたところ、法期限の延長と施策内容が充実されることとなりました。改正された法律では、その目的に「半島地域における定住の促進」も盛り込まれています。

### ●気象業務法による津波予報業務許可を取得

・県では、南海トラフの地震に備えて、津波から避難することにより1人でも多くの命を守るため、独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)との共同開発で三重県尾鷲市沖の海底に設置されたDONET1の水圧計等による観測情報を用いて、津波を予測するシステムを開発しました。

・同システムによる予測情報を市町村等に提供するため、気象庁長官から3月26日付けで気象業務法第17条第1項に基づく予報業務の許可を、全国で初めて受けました。

・予報業務の種別は、第一波到達予想時刻、最大予想津波高で、7区域(串本町有田、高富、串本1、串本2、串本3、大島、姫)を対象としていますが、津波被害が想定される19市町を対象に説明会を実施し、4月30日から予報業務を開始しています。

・今後、平成28年度を目標として、DONET2(高知県室戸岬沖から潮岬沖にかけて設置)の観測情報も加えて予測精度を高め、予測地点を県内全域の約100箇所に拡大する予定です。

※DONET…三重県尾鷲市の沖120~150km先に水圧計、強震計、広帯域地震計などの観測計を設置し、地震、津波をモニタリングする観測するシステム

●平成27年度わがまち元気プロジェクト第1弾決定！

・県では、地域固有の資源(農林水産物、町並み、歴史・文化等)を活用し個性豊かで活力ある地域づくりを推進する市町村等に対し、「わがまち元気プロジェクト」として平成21年度から総合的に支援しています。これまで15のプロジェクトを支援し、特産品の販路拡大や新たな観光商品の造成など多くの成果を挙げてきました。



・この度、今年度の第1弾として、古座川町の古座川ジビエ振興協議会が実施する“「山の恵み」として活かす!「古座川ジビエ」プロジェクト”への支援を決定しました。このプロジェクトは、3月22日に古座川町鳥獣食肉処理加工施設が設置されたことを契機に、狩猟者・商工関係者・教育関係者・住民が、シカ・シシを「山の恵み」として捉え、安全・安心の「古座川ジビエ」ブランドを確立し、最終的に町全体への経済波及効果向上を目指すものです。



・取組としては、「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」を取得し、「安全・安心」の加工施設の信頼を確保するとともに、全国初の「わかやまジビエ肉質等級制度」を活用し、高い品質の「美味しい」ジビエを提供します。また、プロモーション専任者(地域おこし協力隊)とぼたん荘料理人が、県畜産課主催の商談会や「日本ジビエ振興協議会」主催の「川上と川下マッチング」に参画し、全国展開している外食産業等に売込みを図るなど、プロモーション強化と新たな魅力づくりを推進します。そのほか、ジビエ活かし切り作戦として、今まで利用されていなかった部位の肉、皮、骨、内臓まで、すべて資源として活用を図ります。

●紀州うめどりが地鶏・銘柄鶏食味コンテストグランドチャンピオン大会で準優勝

・東京ビッグサイト(東京都江東区)で国内最大級の食肉、加工食品、業務用機器等の総合見本市「第40回食肉産業展」が開催され、その中で実施の「第11回地鶏・銘柄鶏食味コンテストグランドチャンピオン大会」において、「紀州うめどり(紀州うめどり・うめたまご協議会)」が優秀賞(第2位)に輝きました。



・このグランドチャンピオン大会は、平成20年の第5回大会で最優秀賞を受賞している「紀州うめどり」のほか、過去10回の大会で最優秀賞を受賞した銘柄のみが出品できる大会です。

・シャモや赤鶏など高級品種が並ぶ中、来場者が味や食感などを審査した結果、信州黄金シャモ(長野県)に次ぐ2位という快挙となりました。

・「紀州うめどり」は、梅干しの製造過程で産出される梅酢を飼料に添加して育てられた肉用鶏で、鶏独特の臭みが少なく、保存時の水分流出(ドリップ)が少ないことが特徴で、有田川町や日高川町等で年間約120万羽が生産され、主に県内や関西圏で流通しています。お求めなど詳細は、紀州うめどり・うめたまご協議会のホームページを御覧ください。<http://www.umedori.com/>

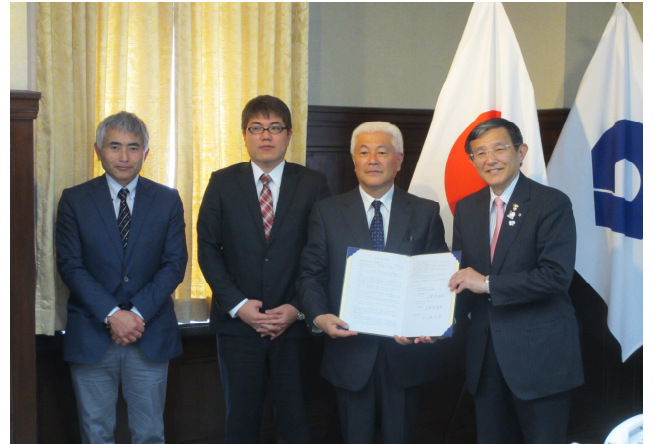


●株式会社 ポタジエが新工場を建設

・4月3日、奈良県五條市に本社を置く 農業生産法人有限会社 王隠堂農園のグループ企業である 株式会社 ポタジエ(本社：紀の川市)が、紀の川市にカット野菜工場を建設することが決定し、県と進出協定調印を行いました。これで平成18年12月以降の企業立地件数は136件となりました。

・王隠堂農園グループは、グループ内で農産物の生産、流通、加工を手がけ、キャベツなどのカット野菜を大手スーパー、コンビニエンスストアに販売しています。近年、カット野菜は高齢世帯、共働き世帯、単身者からの支持を受けて需要が増大し、自社グループの技術を生かしたカット野菜工場を新設して製造能力を増強し、販売を強化する運びとなりました。

・新工場は平成27年12月に操業開始予定で、新規地元雇用者17名、パート等115名が見込まれています。



●「和歌山のぶどう山椒」を使用した「手塩屋ミニ だし山椒味」が発売中！

・4月6日から5月下旬までの期間限定で、亀田製菓株式会社(本社：新潟県新潟市)から、県産のぶどう山椒を使用した「手塩屋ミニ だし山椒味」が全国のコンビニエンスストアで発売されています。

・県では、わかやま産ブランドの向上と販路開拓を目的に、大手食品メーカーに対し県産品採用に向けて取り組んできましたが、その成果として今回の商品化に至りました。

・「手塩屋」シリーズは、一枚一枚丁寧に「ぶくっ」とふくらませた生地とだしの旨みを効かせた味付けが特徴の、こんがり香ばしい堅焼きのおせんべいです。この商品は、「亀田の柿の種の婚活プロジェクト」において、全国1位に選ばれ商品化された「亀田の柿の種 ぶどう山椒」に続き、県産ぶどう山椒が使用されています。

・味付けに使用されている県産ぶどう山椒が、豊かな香りで旨みを引き立てる、あと引く美味しさの特製「だし山椒味」となっています。参考小売価格は1袋100円前後(税抜)です。皆さんも是非お買い求めのうえ、御賞味ください。

・県では、これを絶好の機会と捉え、山椒の主産地である紀美野町、有田川町、各地域のJAと連携し、日本一の和歌山のぶどう山椒をPRしていきます。



●農林水産業競争力アップ技術開発の新規研究テーマが決定！

・県の農林水産業を牽引する新たな技術開発を加速するため、平成24年度に「農林水産業競争力アップ技術開発」を創設し、生産者団体をはじめ広く県民の皆さんから、各試験研究機関が取り組むべき研究テーマを公募してきました。

・今年度は143件の提案があり、学識経験者等の評価をいただいた上で、新規研究テーマを以下のとおり決定しました。

研究テーマ	実施試験場	研究のポイント
イチゴ県育成新品種の栽培技術開発	農業試験場	・新品種候補3系統の現地適応性試験を実施 ・新品種に適した花芽分化促進技術等を開発
スターチスの低コスト新育苗技術開発	暖地園芸センター	・クーラー育苗期間を短縮して経費を削減 ・根鉢軽減資材による生育促進技術を開発
県オリジナル中生品種きゅうきの越年出荷技術の確立	果樹試験場	・苗木の生育特性解明と枝梢管理技術 ・食味の良いきゅうきの簡易貯蔵技術を確立
県オリジナル極早生ウメシシカンの高品質安定生産技術の確立	果樹試験場	・YN26の幼木時における地上部管理法 ・ゆら早生における適正水分の解析と灌水法
シカ・イノシシ生態の地域特性解明と効率的捕獲技術確立	果樹試験場	・シカとイノシシの生態について地域特性を解明 ・傾斜地に対応するハイブリッド囲いワナを開発
ウメ栽培の低コスト化技術の開発と総合実証	うめ研究所	・減肥・減農薬・摘心技術による低コスト総合実証 ・安定同位体窒素を用いて肥料吸収特性を調査
「赤身が旨い熊野牛」生産技術開発	畜産試験場	・ヘルシーで美味しい熊野牛生産技術を開発 ・ミカンジュース粕など県特産食品副産物を飼料に活用
熊野牛受精卵フィールド採取・凍結技術の構築	畜産試験場	・フィールド(農家)での簡易採卵手法を確立 ・簡易型プログラムフリーザーを試作
紀州龍神地鶏(卵肉兼用種)開発プロジェクト	養鶏研究所	・龍神地鶏は旧龍神村において300年以上保存 ・別種との交雑により、新たな地鶏ブランドを創出
ウメ種子活用による養鶏臭気対策	養鶏研究所	・ウメ種子は臭いを吸着する能力が高い ・脱臭効果を活用して鶏糞堆肥製造試験を実施
森林防護柵を活用したシカ誘導捕獲技術の開発	林業試験場	・森林防護柵を周回することが多いシカの行動調査 ・誘導捕獲柵を設置して効率的にシカを捕獲
ヒノキ実生コンテナ苗の育成技術開発	林業試験場	・コンテナ苗は年中植栽可能で活着はよいが高価格 ・高発芽種子による直接播種法を開発し価格を低減
藻場再生をめざしたブダイの食害対策技術の開発	水産試験場	・発信器を用いてブダイの行動生態を把握 ・ブダイの駆除効果の把握とその利用促進
地域で取り組めるヒジキ種苗生産技術の開発	水産試験場	・受精卵からの大量種苗生産技術を開発 ・漁業者等が取り組める種苗生産マニュアルを作成
アユ種苗における冷水病対策技術の開発	水産試験場 内水面試験地	・冷水病菌の高感度検出技術の開発 ・除菌技術やワクチン開発により被害を軽減



### ●スターチス県オリジナル品種「紀州ファインシリーズ」に新たな3品種登場！

・出荷量、栽培面積ともに日本一を誇る和歌山県の重要品目であるスターチスですが、県農業試験場暖地園芸センターでは、この度、県オリジナル品種としては初となるピンク色の「紀州ファインピンク」をはじめ、青色でボリュームのある「紀州ファインブルー」、紫色で生産性が高い「紀州ファインパープル」の3品種を育成しました。



・新品種は、長い切り花が得られる、花房数が多い、作業性がよいなどの特徴があり、民間育成品種と比較すると、生産者は低価格で苗を購入できるメリットがあります。

・現在、新品種として登録出願中であり、今後、出願公表等を経て、県と契約した民間種苗会社において苗生産が行われ、平成28年秋頃には、スターチス生産者から初出荷される予定です。

### ●人工孵化した“スマ”の越冬に成功、全長35cmに成長！

・県水産試験場では、大変美味でありながら日本ではほとんど水揚げされない“スマ”の種苗生産技術を開発し、養殖用種苗の量産に成功しました。昨年8月に産まれたスマを養殖試験中で、現在、全長約35cm(500g)に成長しています。この研究は、農林水産業競争力アップ技術開発によるもので、平成25年度から取り組んできたものです。



・開発した技術のポイントは、共食いが多く、低水温に弱かったスマを、シロギスとの混合飼育により共食いを抑制するとともに、餌に生餌を利用することで体力をアップさせ、越冬に成功させたところです。

・この成果によって人工種苗を用いたスマの養殖が普及し、和歌山県の養殖業の振興につながるものと期待されます。

### ●ネパール地震に係る義援金を募集しています

・県では、4月25日にネパール連邦民主共和国中部において発生した地震により被災された方々に対し、駐日ネパール連邦民主共和国大使館を通じお見舞金を贈呈するとともに、ネパール地震支援に対する義援金を県として募ることとしました。

・ネパール連邦民主共和国の皆様が、一刻も早くこの惨事から立ち直られることを、心からお祈り申し上げます。

<義援金の募集>

義援金名：2015年ネパール地震災害義援金

受付期間：平成27年7月31日まで

振込先：金融機関…紀陽銀行 県庁支店 口座番号…普通 406023

口座名義…和歌山県ネパール震災支援の会

・領収書の発行など詳細は、和歌山県文化国際課国際班(073-441-2055)まで御連絡いただくか、県のホームページを御覧ください。

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/shiryu.php?sid=21194>

「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2015」を策定しました！  
 ものづくり和歌山の販売促進戦略  
 ～ものづくり王国「和歌山」を全国に、そして世界に～

## ■ 2015年度の主な取組

### 1. 国内外販路開拓支援

県内企業の国内外への販路開拓を支援

#### ◆海外でのビジネス支援

- ・和歌山県とフロリダ州の姉妹県州提携20周年の節目の年にフロリダ州においてセミナーや商談会等を実施
- ・エルトゥールル号遭難事件に対する先人の人道的活動を契機とした交流が125周年を迎えるトルコで商談会等を実施(5年目)
- ・イタリア・ミラノで開催される国際博覧会などを契機として商談会等を実施
- ・中国・山東省で9月に展示会出展、商談会等を実施(11年目)
- ・香港ハウスウエアフェアなどの展示会への出展や市場調査を実施
- ・インド・マハラシュトラ州に県内企業のニーズに応じてビジネスミッションを派遣
- ・台湾TJPOと連携し、訪問団受入れやビジネスセミナーを開催
- ・ベトナム農業農村開発省からの訪問団受入や県内企業のニーズに応じてビジネスミッションを派遣
- ・海外展開のための市場調査実施 フランス(パリ)、ドイツ(デュッセルドルフ)  
インドネシア、モンゴル等



#### ◆専門的な海外展示会への集団出展の支援

- ・香港・ハウスウェア・フェア：アジア最大級の日用品見本市
- ・ブルミエール・ビジョン(パリ)：高級ブランドバイヤーが集まるテキスタイル見本市
- ・ホルチャイ・レザー・エキシビジョン(上海)：皮革産業関連展示会、アジア最大級の皮革関連見本市
- ・メゾン・エ・オブ・ジェ2016(パリ)：世界最大級のホームファッション見本市
- ・ミラノカ(イタリア)：イタリアメーカーを中心とした生地素材、テキスタイルの世界最大規模の見本市

#### ◆専門的な国内展示会への集団出展の支援

- ・機械要素技術展：機械要素(軸受、ベアリング、ねじ、ばね等)や金属、樹脂に関する加工技術の専門技術展
- ・東京インターナショナルギフト・ショー：パーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市
- ・IFFT/インテリアライフスタイルリビング：「ライフスタイルを提案する」インテリア・デザイン市場のための国際見本市
- ・インターネコジャパン：エレクトロニクス製造・実装に関する展示商談会
- ・東京レザーフェア：国内最大の皮革関連見本市へ県内産地組合の出展を支援

#### ◆専門的な展示会への個別出展支援

- ・海外展示会：補助率1/2以内、100万円以内・国内展示会：補助率1/2以内、50万円以内

#### ◆国内での商談会開催

- ・技術を必要とする大企業と技術を有する県内企業とがマッチングできるよう大企業と商談会を開催
- ・優れた県産品を製造する県内企業と県外バイヤー等との商談機会を設定
- ・県外の発注企業(機械金属系メーカー等)と県内企業との新規取引の開拓などを支援

## 2. ものづくりと販売力の強化

地場産業の新しいブランドづくり、地域の資源を活用したものづくりや販路開拓、経営改善(生産性の向上)に取り組む企業の支援や各種セミナーの開催など、ものづくりと販売力を強化

- ◆県内地場産地の企業による新しいブランドづくりへの取組支援
  - ・県内地場産地の企業による、新しいブランドづくりの取組を最長3年間継続して支援
- ◆地域資源を活用したものづくり支援
  - ・本県の強みである地域資源の3類型(農林水産物、産地の技術、観光資源)を活用した新商品
    - ・サービスの事業化を支援
  - ・中小企業が大学・公設試験研究機関と連携して行う新製品の開発・試作等に対し支援
  - ・農林漁業者と中小企業者が連携(農商工連携)し、それぞれの経営資源を有効に活用した新商品・新サービスの開発事業、販路開拓事業などを支援
- ◆産地組合等の活動支援
  - ・補助金等国事業やJETRO等事業と連携し、産地組合の取組を総合的に支援
- ◆県内企業の経営改善(生産性の向上)支援
  - ・わかやま産業振興財団内に「ものづくりカイゼン支援アドバイザー育成スクール」を設置
  - ・県内中小企業に対し、「ものづくりカイゼン支援アドバイザー」を派遣
- ◆県内企業の顕彰制度
  - ・次代の県経済をリードする優れたビジネスモデルを創出する企業を表彰するとともに、表彰された企業の研究開発や販路開拓等を補助制度により支援



## 3. プレミア和歌山(和歌山県優良県産品)の推進

多様な分野の優れた県産品等をプレミア和歌山に認定し、推奨するとともに、積極的なメディア戦略等により販売促進活動を推進

- ◆プレミア和歌山の認定
  - ・優れた県産品等をプレミア和歌山推奨品に認定
  - ・プレミア和歌山推奨品審査委員特別賞の選定・発表
- ◆プレミア和歌山の販売促進
  - ・情報発信力のある方を招いて、プレミア和歌山を食材にした料理の提供や産品等のPRを行うセレモニーを開催
  - ・プレミア和歌山パートナー(文化人、芸能人など各界に影響力を発揮できる方)を通じた、プレミア和歌山の販売促進活動の展開
  - ・テレビ、新聞、雑誌などのメディア活動や大手民間企業のタイアップキャンペーンによるプレミア和歌山のブランドイメージ向上
  - ・百貨店やホテル、高級スーパーなどの販路を開拓
  - ・都内に特設ブースを設置し、販売促進
  - ・大規模な見本市・展示会等への積極的な出展
  - ・プレミア和歌山の認知度向上と消費の拡大を図るため、ECサイト等で「プレミア和歌山推奨品」を割引価格で販売する全国キャンペーンを実施(わかやま名物商品消費促進)



・詳しくは県のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/homepage/index>

## 「和歌山県観光振興実施行動計画」アクションプログラム 2015」を策定しました！

＝和歌山県観光振興実施行動計画＝アクションプログラム2015＝

### ◆アクションプログラム2015の主な取組◆

#### わかやま観光リレーキャンペーンで売り出す、招く、もてなす

- ◆「アフターDC」で売り出す、招く、もてなす
  - ・わかやまDCで誘客効果が大きかった取組をブラッシュアップして実施
  - ・和みわかやまプレミアムキャンペーンでの集中実施
    - 好評企画の継続実施、JRグループ等の広告媒体の活用
- ◆「和みわかやまプレミアムキャンペーン」で売り出す、招く、もてなす
  - ・本県への旅行に際し、旅行費用の助成や「アフターDC」などの観光キャンペーンとの連動により、プレミアム感を強く打ち出し、国内外からの誘客を図るため全国的な広報を実施
    - 国内旅行の大幅割引、海外からの誘客、「アフターDC」の特別企画との連動、全国的な広報展開
- ◆「高野山開創1200年」で売り出す、招く、もてなす
  - ・「高野山開創1200年」を契機とした誘客促進のために、引き続き情報発信を強化するとともに大法会以降も地元と受入対策を連携して実施
    - 「週末は聖地へ！」宿泊プラン、高野・熊野・白浜アクセスバスの運行、和歌山紀北キャンペーン
- ◆NHK大河ドラマ「真田丸」で売り出す、招く、もてなす
  - ・真田ゆかりの「高野山」「九度山」の魅力を情報発信するだけでなく、徳川家、雑賀衆、根来衆などの和歌山ゆかりの歴史資産を繋いだ広域観光のモデルコースを提案し、真田幸村を目的に訪れる観光客が紀ノ川エリアを中心とした県内での周遊・滞在を促進
    - 大河ドラマ館、エリア周遊促進企画、誘客宣伝
- ◆「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」で招く、もてなす
  - ・国体推進局と連携し、県民あげての「おもてなし」を充実
    - おもてなしマップの作成・配布



#### 和歌山を売り出す

- ◆「世界遺産」で和歌山を売り出す
  - ・世界遺産関係者が一堂に会する世界遺産サミットを開催し、世界遺産の保全と活用について、様々な視点で意見交換を行い、課題の共有と世界遺産の魅力を連携して発信
- ◆「自然の素晴らしさ」で和歌山を売り出す
  - ・情報発信ツールやメディア展開により「南紀熊野ジオパーク」の魅力を発信し認知度を向上
  - ・推進母体である「南紀熊野ジオパーク推進協議会」と連携しながら、観光振興での活用推進
- ◆「ブランド」で和歌山を売り出す
  - ・首都圏・京阪神など大都市圏での様々なプロモーションを展開
  - ・「パンダ＝和歌山」という認知度を向上するため、企業とのタイアップによる露出拡大
  - ・「わかやまパンダ大使」の岡本玲さんの積極的起用等によるメディアを介した情報発信の強化

## 和歌山へ招く

### ◆「ターゲットごとのプロモーション」で和歌山へ招く

→若い女性層をターゲットの中心とした誘客戦略、大手企業とのタイアップ推進、世界遺産の企業等CSR推進、信用金庫等の年金旅行誘致、コンベンション誘致推進、修学・教育旅行の誘致活動、スポーツ合宿誘致、南紀白浜空港利用促進、クルーズ客船誘致による誘客促進

### ◆「メディアを活用」して和歌山へ招く

・テレビ、ラジオ、雑誌、新聞、ウェブなどを複合的に組み合わせ、「世界遺産」「女子旅」「熊野古道」「高野山開創1200年」などのブランド力やマーケットの注目度の高いテーマを設定し、提案活動を行い、効果的な情報発信を実施

→徹底的な企画提案活動、県観光情報誌「紀州浪漫」、フィルムコミッション

### ◆「首都圏」から和歌山へ招く

・国内最大のマーケットで国内外の情報発信の拠点である首都圏で、プロモーション展開を行い、本県の認知度向上と誘客を促進

→首都圏誘客集中イベント「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン」、世界最大観光展「ツーリズムEXPOジャパン2015」への出展



### ◆「近畿、東海、西日本等」から和歌山へ招く

→阪急阪神グループとのタイアップキャンペーン、名古屋・大阪・広島・福岡などの大都市圏での複合プロモーション

### ◆「海外」から和歌山へ招く

・海外プロモーション手法の充実

→FIT(外国人個人観光客)誘客促進

・東アジアや東南アジアから観光客を招く

・欧米豪に世界遺産「高野・熊野」を売り込み、観光客を招く

## 和歌山でもてなす

### ◆外国人観光客受入環境整備

→「和歌山フリーWi-Fi大作戦」、多言語案内表示の整備・充実、外国人観光客向け消費税免税店の拡充

### ◆わかやまおもてなし県民運動

→「わかやまおもてなし宣言」の実施

### ◆接遇の向上・人材の育成

→タクシードライバーのおもてなし向上、おもてなしアドバイザー派遣

### ◆快適観光空間の創造

・和歌山おもてなしトイレ大作戦

→公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るため、市町村が行うトイレ整備(大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化等)を支援



・詳しくは県のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062400/actionprogram2015.html>

**イベント情報(5月11日～6月10日)**

期間	行事名	場所	問い合わせ先
5/12～ 5/17	根本大塔プロジェクト マッピング	高野町・壇上伽藍	総本山金剛峯寺 0736-56-2011
5/14	中将姫来迎会式	有田市・得生寺	有田市産業振興課 0737-83-1111
5/17	和歌祭	和歌山市・紀州東照宮	和歌祭保存会 073-444-0808
5/17	稲作体験(田植え) in 清水あらぎ島	有田川町・あらぎ島	有田川町ふるさと開発 公社 0737-25-0221
5/21	庭儀大曼荼羅供	高野町・壇上伽藍等	総本山金剛峯寺 0736-56-2011
5/23	第8回わかやま城下町バル	和歌山市・和歌山城	バル実行委員会 070-6503-3797
5/24	砂まつり大会	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511
5/30	古民家で昔ばなしを聞く会	和歌山市・ 旧中筋家住宅表門休憩室	和歌山市文化振興課 073-435-1194
5/31	ホテル観賞の夕べ	日高川町	日高川町商工会 0738-23-3434
6/1	献湯祭	白浜町・温泉神社	白浜観光協会 0739-43-5511
6/6	6月6日は「梅の日」	田辺市・熊野本宮大社	紀州梅の会 0739-26-9959

砂まつり大会は、砂を使って造る体験型芸術コンクールで、白浜の夏を代表するイベントの一つです。





自然・風物情報(5月中旬～6月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
5月中旬	「小梅」の収穫始まる	田辺市	J A 紀南 0739-23-3450
5月中旬	バラ見ごろ	和歌山市・四季の郷公園	四季の郷公園 073-478-0070
		白浜町・平草原公園	白浜町観光課 0739-43-6588
5月下旬	サツキ見ごろ	上富田町・観音寺	上富田町観光協会 0739-47-0550
		紀の川市・粉河寺	粉河寺 0736-73-4830
5月下旬	アジサイ見ごろ	有田市・仁平寺	有田市産業振興課 0737-83-1111
		白浜町・平草原公園	白浜町観光課 0739-43-5555
5月下旬	ヒメシャガ見ごろ	高野町・三宝院	三宝院 0736-56-2004
6月上旬	アロハシャツに衣替え	白浜町・役場、銀行など	白浜町観光課 0739-43-5555
6月上旬	「歯の衛生週間」 クジラの歯磨き	太地町・くじらの博物館	くじらの博物館 0735-59-2400
6月上旬	カバの歯磨き	白浜町・ アドベンチャーワールド	アドベンチャーワールド 0739-43-3333



別名「アジサイ寺」とも呼ばれる有田市の仁平寺には、本堂裏の山の斜面に約千株のアジサイが植えられています。シーズンには斜面一面に赤・青・ピンクなど大輪の花が所狭しと咲き誇ります。

～編集後記～

4月は肌寒い日が多かったものの、5月に入り一気に初夏を思わず陽気が続いています。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

4月の下旬には、ネパールにおいて大地震が発生し、多くの方が犠牲となるたいへんなニュースがありました。亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞申し上げます。ネパールは地震が多発する地域であったにも関わらず、対策が遅れていたこともあり甚大な被害となったとも報じられています。改めて「備える」ことの大切さを感じさせられた気がいたします。同じく大地震の発生が危惧され、様々な防災対策に取り組んでいる和歌山県では、日本にとって有数の友好国であるネパールの被災者のお力になりたいとの思いから、お見舞金を贈呈するとともに、義援金も募っているところです。

もちろん、和歌山県においても、大地震への対策は最優先で取り組まなければならない課題であり、とりわけ、三方を海に囲まれた半島に位置しているため、犠牲者をゼロとするためには津波から逃げ切ることが必要不可欠です。津波避難ビルの指定、堤防・護岸の整備等計画的に対策を推進しているところですが、住民の皆さん自身が、まず「逃げる」という意識を持って行動いただくことが重要ですので、実践訓練や意識啓発に引き続き取り組んでいきます。

さて、「紀の国わかやま国体」の開幕まで、いよいよ140日を切りました。誌面でも御紹介いたしました。開・閉会式の観覧者の募集も始まっています。県にゆかりのある豪華な出演者も決まりましたが、競技場と観衆が一体となって盛り上がる演出も予定されており、必ずや観衆の皆さんの心に残るものとなるはず。44年ぶりに和歌山で開催される最大のスポーツの祭典に、皆さんも是非御参加いただければと思います。

暦の上では夏を迎えたとは言え、まだ朝晩涼しい日もありますので、体調管理にはくれぐれもお気をつけください。

知事室秘書課長 中村 一人

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2015年(平成27年)5月 NO.85

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022